

私たちの町は私たちが守る

『自主防災組織』

いざというとき地域防災活動の主力となるのが、自主防災組織です。

県内71市町村のうち、自主防災組織が全く組織されていない市町村(組織率0%の市町村)は、たったの7町村。皆野町は、その中の1つです。

私たちの町は私たちが守るために、自主防災組織を結成しましょう。

自主防災組織とは？

自主防災組織は、地域住民が自主的に連帯して、防災活動を行う組織のことを言います。平常時は、防災訓練や応急救護講習への参加、各家庭の防災対策の促進、災害時には、初期消火や救出救護、救援物資の分配などの活動を行います。

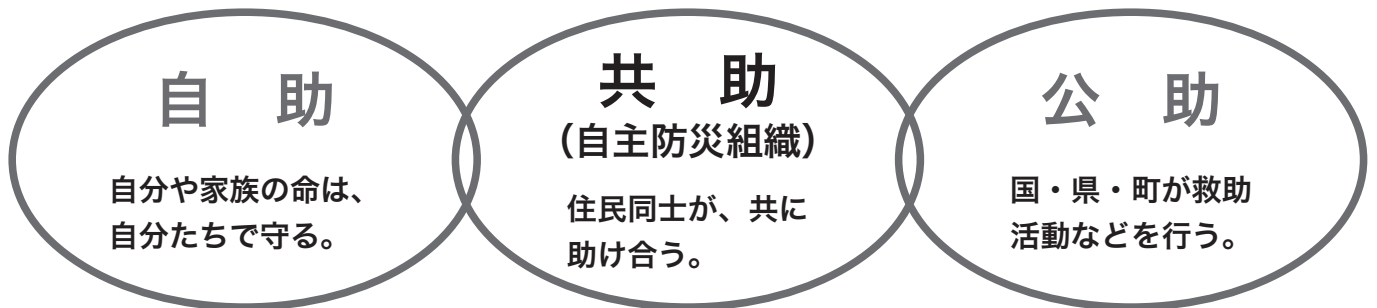
自主防災組織はなぜ必要か？

災害への対処は、個人や家族だけでは、限界があります。各自がバラバラに行動したのでは、効果は期待できません。被害の防止、軽減を図るためには住民同士が協力して、組織的に行動することによって効果が最大限に発揮できます。町内会、自治会などを生かして、自主防災組織を編成し、日ごろから大地震などの災害に備えましょう。

被災者の約6割が

近所の人によって救出

平成7年に起こった阪神・淡路大震災では、被災者の約6割が近所の人によって救出されています。



【自主防災組織図(例)】

